

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年11月24日更新

事務事業名		水道事業建設改良事業(上水道配水管等)					マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政 策	4 生活環境の健康					所属部	水道局	課長名	岡田 光弘		
	施 策	20 水の安定供給と排水の浄化					所属課	上下水道課	担当者名	府内 貴生		
	施策の柱	60 水の安定供給					所属班	管理工務班	(内線)	1153		
予算科目		会計 企業	款	項	目	事業連番	根拠 法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業 給水条例		成果優先度評価結果		:
										コスト削減優先度評価結果		:
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	上水道の新設配水管等整備(布設替等工事)を行う事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として昭和37年度から事業を実施している。水道使用者数(給水件数)は、本市の人口増加に伴い増加傾向(平成23年3月末19,798件→平成28年3月末22,187件)にあることから、計画的な配水施設の整備等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。 なお、平成28年度中に簡易水道事業を本事務事業へ統合した。
【業務の流れ】	上水道の配水管等整備のための①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤上水道配水管工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費) 工事請負費、委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) 熊本菊鹿線配水管布設工事、須屋地区、杉並台、泉ヶ丘団地内配水管布設替工事等および設計業務委託等		29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 木原野配水施設整備に伴う配水管導水管、須屋地区、杉並台、黒石団地、泉ヶ丘団地内配水管布設替等工事及び設計業務委託等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 上水道の普及率	%	木原野配水施設整備に関連する御代志木原野線の配水管及び導水管工事による増
→ イ 上水道の配水管布設工事延長	m	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 上水道使用者		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 上水道使用者数 人
		→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全で良質な水道水を安定的に使用できる		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 上水道使用者のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた割合 %
		→ イ
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 上水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移											
		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア	%	98.73	98.73	99.7	98.8	99.75	99.8	99.8	99.8	
	イ	m	6,162	8,023.9	4,000	9,221.8	4,000	2,400	2,250	2,760	
② 対象指標	ア	人	53,448	54,388	54,500	55,432	57,000	58,000	59,000	60,000	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 入費 量	事業 費内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	405,404	296,488	269,850	277,594	390,200	227,143	139,000	160,000
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	405,404	296,488	269,850	277,594	390,200	227,143	139,000	160,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8	8	8	8	8
		延べ業務時間	時間	2,620	2,450	2,700	2,100	2,700	2,700	2,700	2,700
		(B)人件費計	千円	10,438	9,096	10,756	0	10,756	10,756	10,756	10,756
トータルコスト(A)+(B)		千円	415,842	305,584	280,606	277,594	400,956	237,899	149,756	170,756	

事務事業名	水道事業建設改良事業（上水道配水管等）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 平成29年度も引き続き配水管の布設替えを順次行っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 配水池施設の整備と併せて配水管布設替え等の施設整備を進め、すべての上水道使用者に安定的な水道水を供給することとしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28年度中に上水道事業と簡易水道事業を統合したため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 老朽化した配水管の布設替えは必須事業であり、事業費についても可能な限り集約し競争入札によりコスト縮減を図っていることから削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の予算で事業を行っているので削減余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 すべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ整備であるため、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

平成28年度も市内の多くの箇所で老朽管の布設替えを行った。安定した水供給のため次年度も引き続き布設替え工事を順次行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策